

小学校外国語活動 第6学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例, ◆課題
4	Lesson 1 Do you have “a”? アルファベットクイズを作ろう (1) 世界には様々な文字があることや、31～100の数の言い方を知る。 (2) アルファベットの小文字とその読み方とを一致させる。 (3) アルファベットの小文字とその読み方とを一致させるとともに、あるかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	2ー(1) 1ー(1)	3	小学校では、第3学年でローマ字を学習し、英文字には触れている。ここでは、英文字としてのアルファベットの読みに触れる。 中学校での英語学習が円滑に始められるよう、十分に習熟を図りたい。	小学校第3学年国語科 「ローマ字」の読みと書き 小学校第5学年 Lesson6 What do you want? アルファベットをさがそう	○アルファベットの読みの習熟を図る。	中学校第1学年 Program1 (1)アルファベットの文字と音の一致	◆文字と読みが一致していない児童が多い。
5	(4) 積極的にあるかどうかを尋ねたり、数を数えたりしようとする。 Lesson 2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう (1) 日本の季節の行事や特徴を伝え、月の言い方を知る。 (2) 日にちの言い方を知り、自分の誕生日の言い方に慣れ親しむ。 (3) 誕生日の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。	2ー(1) 1ー(1) 1ー(2)	3	月や序数は、たくさんの単語を覚えなければならず、負担感を感じるものである。小学校で月や序数について耳慣れしておくことが中学校での学習負担感を軽減し、学習意欲の向上が図られる。	小学校第3学年国語科 「ローマ字」の読みと書き 小学校第5学年 Lesson3 How many? いろいろなものを数えよう	○中学校で読みもつづりも覚えるのは大変である。音声については小学校の時に十分に慣れ親しませたい。	中学校第1学年 Let's Start Word Web1 数の言い方 Word Web3 月の名前と順番を表す言い方	◆英語における月や数字を部分的に覚えている児童が多い。 ◆たくさんの単語が出てくるので、覚えきれない児童が多い。 ■自分の誕生日を言えたことを褒めて評価する。
6	(4) 積極的に自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりする。 Lesson 3 I can swim. できることを紹介しよう (1) 「できる」「できない」や動作を表す表現を知る。	1ー(1) 1ー(2) 2ー(1)	3	生活の中にすっかり溶け込んだサッカーなどの英語に加え、卓球等の新しい表現も加えて単語数を増やしていく。「can」の言い方についても親しませ、中学校1年生の学習へとつなげていく。	小学校第5学年 Lesson4 I like apples. 好きなものを伝えよう		中学校第1学年 Program4 (1)相手に何をするか尋ね応答する。 Program8 (2)できることのたずね方と答え方	◆英語と外来語を区別できていない児童が多い。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
6	(2) 「できること」や「できないこと」を尋ねたり答えたりする表現を知る。 (3) 「できること」「できないこと」を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、人それぞれに違いがあることを知る。							
7	(4) 自分ができようことを考え、友だちと積極的に交流しようとする。		1					
8	Lesson 4 Turn right. 道案内をしよう (1) 町中にある様々な建物などの言い方に興味をもち、理解しようとする。 (2) 方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	1ー(2)	2	レストラン、交番、デパート、病院、消防署等身近な建物の名前に親しませる。 「Go straight.」「Turn right.」「Turn left.」の簡単な表現を用いて道案内ができることを知り、表現することへの意欲を高める。		○「Where is ～?」が場所を尋ねる言い方であることに慣れさせる。	中学校第1学年 My Project 1 自己紹介 Program 5 (2) ものがある場所のたずね方と答え方	◆建物の名前等たくさんの単語を用いて、場所を説明できる児童は少ない。 ■建物の絵カードを見ての発音練習を多く行う。絵カードは、掲示し、いつでも見ることができるようしておく。
9	(3) 方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的地を伝える。 (4) 相手意識をもって道を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。 Lesson 5 Let's go to Italy. 友だちを旅行に誘おう (1) 世界では、様々な人々が様々な生活をしていることを知り、世界に興味をもつ。	1ー(1) 1ー(2) 2ー(1)	3	国名の言い方、国旗の色の言い方、前出の「Where ～?」を用いてどこの国に行きたいかを尋ねたり、答えたりという活動を通して表現する楽しさを味わわせる。			中学校第2学年 Program 6 A Work Experience Program	■行きたい理由を話すことに困った時には、児童同士で助け合えるようグループ構成に配慮する。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
9	(2) 行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 (3) 行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。							
10	(4) 相手にはっきり伝えるように自分の行きたい国とその理由を伝えようとする。 Lesson 6 What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう (1) 生活を表す表現や、時刻の言い方、尋ね方を知る。 (2) 動作を表す言葉や時刻を表す表現に慣れ親しむ。 (3) 一日の生活についての時刻を表す表現に慣れ親しみ、時差があることを知る。	2ー(1) 1ー(2)	1 3	時間について答える時には数の表現を理解していなければならない。ところが、数を表現する単語は、たくさんあるために児童にとっては、覚えにくい。表現したいが、わからなくてできないになってしまいがちである。中学校でも出てくるので、十分に慣れ親しませたい。	小学校第5学年 Lesson 3 How many? いろいろなものを数えよう Lesson 5 What do you like? 友だちにインタビューしよう	○数の言い方は、日常生活の中でも触れるようにし、十分に耳慣れさせておきたい。	中学校第1学年 アクションタイム Power Up Speaking 1 時刻のたずね方と答え方 Program4 (3)相手に何をするかたずね応答する 中学校第3学年 Speaking 1	◆12以上の数になると途端にわからなくなる児童が多い。 5, 15と50など若干の変化に対応することも困難である。
11	(4) 一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 (5) 相手に伝えるように自分の生活を紹介しようとする。 Lesson 7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう (1) 世界には様々な物語があることを知るとともに、世界の物語に興味をもつ。 (2) 物語の筋が分かり、様子を尋ねたり表したり、行動するよう促す表現に慣れ親しむ。 (3) 様子を尋ねたり表したり、行動するよう促す表現に慣れ親しむ。	2ー(2) 1ー(1) 1ー(2)	2 3	「桃太郎」の登場人物とそのせりふをグループで考え、オリジナルの物語を演じて楽しむ。表現することの楽しさを味わってほしいので、児童に過度の負担がかからぬよう、発表場面を限定するなど考慮して進めたい。				◆長いせりふを暗唱して話すこと、みんなの前で表現することを苦手とする児童が多い。 ■発表場面を限定したり、グループ構成を工夫することによって表現することを楽しいと思えるようにする。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例, ◆課題
1 2	(4) 様子を尋ねたり表したり, 行動するよう促したり, 要求したりする表現に慣れ親しむ。 (5) 積極的に英語を使って, 考えた物語の筋を伝えたり聞こうとしたりする。		1					
1	Lesson 8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう (1) 様々な職業の言い方を知る。 (2) 様々な職業の言い方に慣れ親しみ, 職業を表す語彙を通して英語の日本語の共通点に気付く。	2ー(1) 2ー(2) 1ー(2) 1ー(3)	2	What do you want to be? I want to be ~. という構文を使った学習となる。中学校では, What is this ~? What time~?という構文でWhatを学習するが, Whatに慣れる, Whatのいろいろな使い方に触れるという点で, 中学校の学習に広がりを持たせる学習となる。		○様々な職業の言い方に慣れ, 知っている語彙数を増やす。	中学校第1学年 Word Web2 曜日の言い方 Program4 (1)相手に何をするかたずね応答する。	◆職業を表す単語を覚えきれない児童がいる。
2	(3) 将来就きたい職業について, 答えたり尋ねたりする。 (4) 世界にはその環境によって様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り, 相手意識をもって自分の夢を交流しようとする。		2					
	合 計		3 5					